

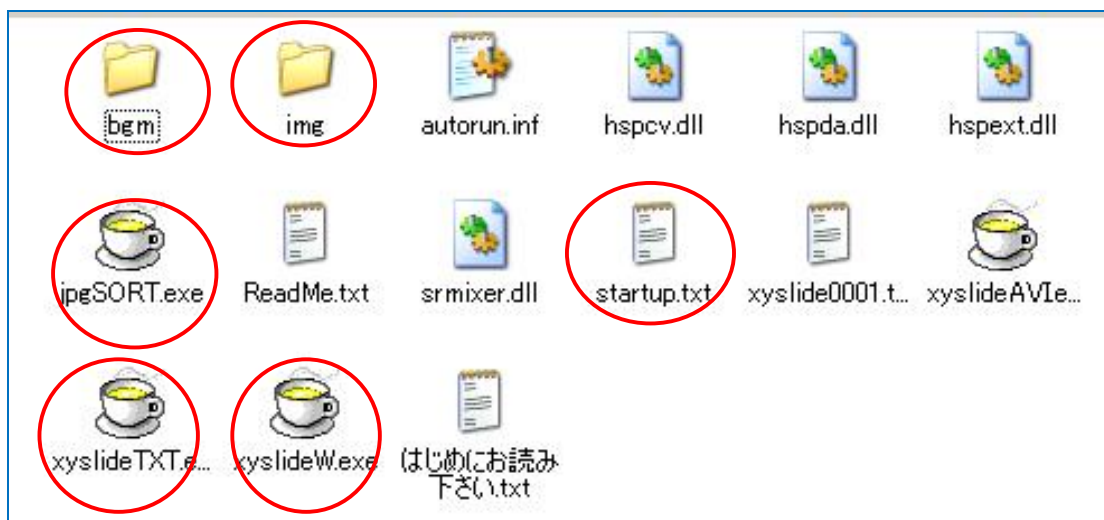
簡単に出来るスライドショー Ver3

写真にスクロール文字（説明文）やBGMを付けたスライドショーを作ってみましょう。
使用するソフトは「xyslide22」です。（2009.07.02版を使用）

このソフトが扱える画像はJPEG、BMP及びGIFに限定されますが、使用できる画像の枚数（バイト数）は無制限です（記録媒体の容量による限度はあります）。勿論、USBに入れることも、CDに焼くことも出来ます。

（デジカメ動画（AVI、MOV）を扱うこともできますが、講習会では説明を省略します。）

「xyslide22」フォルダを開くと、次のファイルとサブフォルダがあります。



ダウンロードしたままの状態のソフト（xyslide22）には、サンプル画像（img）とサンプルBGM（bgm）が入っていますが、講習会で使うものからは、サンプルを削除しています。

また、今回は赤丸で囲んだサブフォルダとファイルを使います。

1. 画像だけのスライドショーを作成する

「xyslide22」フォルダを開き、サブフォルダ「img」に画像を取り込む。

スライドショーに使用する画像（jpg等）を選択して右クリック ⇒ 「コピー」を実行 ⇒ 「img」フォルダを開き、右クリック ⇒ 「貼り付け」を実行する。

2. スライドショーで表示する画像の順番について

「xyslideW.exe」で実行するスライドショーは、「撮影日時順」又は「名前順」で表示することが出来ます。

「撮影日時順」の場合は、実行ファイルが画像データから撮影日時データを読み込んで、実行しますが、bmp、gif画像や一度編集したjpg画像からは撮影日時データが取得できないので、更新日時順となります。

「名前順」に実行する場合は、画像の名前に番号を付ける等、順番を明確にしておくことと設定したとおりに表示させやすい。

（注）一度スライドショーを実行すると「xyslide.txt」というファイルが「img」



フォルダの中に自動作成される。

画像の順番を入れ替える場合は、このファイルを修正する。

画像を取り換えた場合や撮影日時順から名前順に変更する場合は、「xyslide.txt」を必ず削除しておくこと。削除しておかないと、パソコンがフリーズすることがある。

3. 画像だけのスライドショーを実行（動作確認）する

講習会では、撮影日時順に表示させるので、「startup.txt」ファイルを開き、最初の行に記載されている英数文字のアルファベットが「d」になっていることを確認する。「n」になっている場合は「d」に修正すること。

「d」は撮影日時順、「n」は名前順に表示させることを意味します。

(1) スライドショーの動作確認

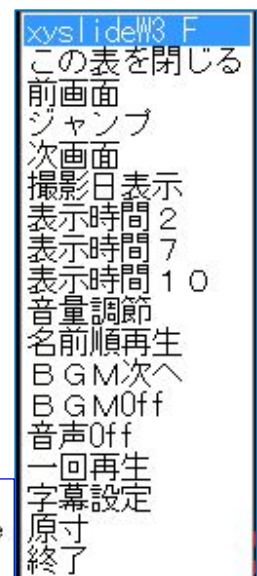
「xyslide22」フォルダ内の実行アイコン「xyslideW.exe」をダブルクリックして、スライドショーが撮影日時順に実行されることを確認する。



(2) スライドショーを終了する

画面上でクリックすると「メニュー」（右図）が表示されるので、メニューの最下部にある「終了」ボタンをクリックする。

クリックして表示されるメニューの説明は、「7. 画面表示メニューについて」を参照のこと。

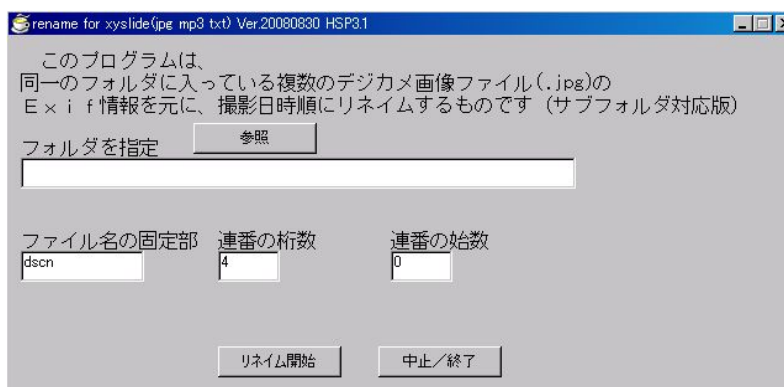


4. 画像につける名前（ファイル名）について

このスライドショーは、撮影日時順若しくは名前順に表示させることが出来ますが、撮影日時順に名前を付け替えておくと、分かりやすいです。名前を付け替える（リネーム）には、「jpgSORT.exe」を使うと便利で、特に、複数のカメラで写した画像に統一した名前を付ける場合に有効です。



(1) 「jpgSORT.exe」を起動して、下図画面を表示する



(2) 「参照」ボタンを押して、「img」フォルダを指定し、「ファイル名の固定部」に名前を入力し、「リネーム開始」ボタンを押すと一括してファイル名の変更が出来る。

この機能で設定すると、撮影日時順と名前順が同じになるが、「img」フォルダ内の「xyslide.txt」ファイルを開き、画像ファイル名の順番を変えてやると任意の順番（名前順）で表示することが出来る。

5. スライドショーに説明文を入れる

- (1) 「xyslideTXT.exe」を起動する。
- (2) 右図のような画面が開く場合がある（スライドショーを作り直した場合など）が、「削除して作り直す」をクリックする。



- (3) 続いて、下図の「xyslideTXT」画面が表示されるので、「字幕文字」等を入力する。



- ① 表示されている画像の説明文を、「字幕文字」テキストボックスに入力する。
テキストボックスの下の「字幕中央停止」にチェックを付けると、説明文が停止文字で表示され、チェックを外すとスクロール文字で表示される。

「左の設定を含める」にチェックを付けると、その画像独自の（次の②で設定する）効果を設定することが出来る。

- ②「撮影日表示」～「エフェクト」の欄で、個々の画像に適用する効果を設定する。

スライドショー全体に同じ効果を適用する場合は「startup.exe」ファイルで設定するが、個々の画像に設定した効果があれば、個々の設定が優先される。



- ③「字幕文字書き込み」ボタンを押して、説明文等を確定する。⇒「img」フォルダに画像と同じ名前のテキストファイルが作成される。
- ④「次画像」ボタンを押して、次の画像に説明文等を設定する。⇒すべての画像に設定が終了したら、「終了」ボタンを押す。
- ⑤ 表示中の画像の編集等
- ・「左回転」「右回転」ボタンを押すと、画像が90度回転します。（jpgにのみ対応）
 - ・「削除」ボタンを押すと、「img」フォルダから画像が削除されます。
 - ・「縮小」ボタンを押すと、ディスプレイのサイズに合わせて縮小するが、原寸サイズでの表示ができなくなる。（jpgにのみ対応）
 - ・「トリミング」ボタンを押すと、画像をトリミングできます。先に画像の上でドラッグして範囲を指定しておくこと。（jpgにのみ対応）

5. スライドショーにBGMを入れる

「bgm」フォルダに音楽ファイル（mp3に限る）を取り込むと、スライドショーでBGMを流すことが出来ます。（上記4-②で、「BGM」を「有り」に設定しておくこと。）

PC内にある「mp3」ファイルを右クリック ⇒「コピー」を実行 ⇒「bgm」フォルダを開く ⇒ 右クリック ⇒「貼り付け」を実行する。

6. スライドショーの実行方法（全体）の設定

「startup.txt」ファイルを使って、スライドショー全体の各種設定を行うことが出来る。

実行方法の設定は、「startup.txt」ファイルの1行目で行います。（1行しかない。）

【startup.txt】の設定例

1105335d099	_____	↓
撮影日（無0、有1）	1（撮影日を表示する）
BGM（無0、有1）	1（BGMあり）
音声（無0、有1）	0（音声（ナレーション）なし）
表示時間（2秒2、5秒5、7秒7、10秒0）	...	5（画像表示時間は5秒）
字幕大きさ（無0、小1、中3、大6）	3（字幕を中文字で表示）
字幕早さ（低速1、中速2、高速3）	3（字幕を高速でスクロール）
字幕色（自動0、白1、黒2、赤3、青4、緑5）	...	5（字幕の色、緑）
再生順（日付順d、ファイル名順n）	d（撮影日順で表示）
再生回数（エンドレス0、1回1）	0（エンドレスでプレイ）
効果（無し 00、ランダム1 99、ランダム2 98）	99（画像変換時の効果、画像ごとに変える）

「効果」については、「xyslide0001.txt」ファイルの記述内容を参照のこと。
この設定は、実行ファイル「xyslideW.exe」を起動した時に反映されます。

7. 画面表示メニューについて

スライドショーを実行中に、画面をクリックすると表示されるメニューの説明です。
このメニューは実行中のスライドショーに一時的に適用され、スライドショーを終了すると解除されます。

設定を恒常的に実行させる場合は、上記6の「startup.exe」ファイルで設定すること。

- ・ この表を閉じる・・・メニューを閉じる
- ・ 前画面・・・一つ前の画面を表示する
- ・ ジャンプ・・・ダイアログでジャンプ先の番号（順番）を指定して、その画像にジャンプする
- ・ 次画面・・・一つ後の画面を表示する
- ・ 撮影日表示・・・クリックして、「撮影日」（画面左上）を非表示又は表示する
- ・ 表示時間2・・・表示時間を2秒間に設定する
- ・ 表示時間5・・・表示時間を5秒間に設定する
- ・ 表示時間7・・・表示時間を7秒間に設定する
- ・ 表示時間10・・・表示時間を10秒間に設定する
表示時間は4項目のうち3項目が表示され、適用中の時間は表示されない。
- ・ 音量調節・・・クリックするとWindowsの「Volume Control」が開くので、音量を調節することができる
- ・ 名前順再生・・・クリックすると名前順に再生する
- ・ 撮影日順再生・・・クリックすると撮影日時順に再生する
- ・ ファイル順・・・ファイルの順に再生する（名前順とほぼ同じ）
再生順は3項目のうち2項目が表示され、適用中のものは表示されない。
（注）ここで設定した再生順は、必ずしもそのとおりに実行されるとは限らない。
- ・ BGM次へ・・・複数のBGMを切り替える
- ・ BGM off (on)・・・クリックしてBGMのONとOFFを切り替える
- ・ 音声 off (on)・・・クリックして音声（ナレーション）のONとOFFを切り替える
- ・ 一回再生（エンドレス再生）・・・クリックして再生回数を指定する
- ・ 字幕設定・・・クリックするとダイアログで字幕（スクロール文字）の設定が出来る。
字幕の大きさ 「小」、「中」、「大」、「無」
字幕の速度 「低」、「中」、「高」
字幕の色 「自動」、「白」、「黒」、「赤」、「青」、「緑」
- ・ 原寸・・・画像を原寸大で表示する、右クリックすると元に戻る
- ・ 終了・・・スライドショーを終了する

9. スライドショーをCDに焼き付ける

「xyslide22」フォルダの内容をCDに焼付けて、スライドショーを楽しむことができます。

- (1) 「xyslide22」フォルダを開き、内容をすべて選択し、右クリック ⇒ 「送る」をクリック ⇒ 「CDドライブ」をクリックする。

（注）「xyslide22」フォルダにいたまま焼き付けると、自動実行は出来ません。

- (2) CDドライブにCDを挿入

- (3) エクスプローラーの「CDドライブ」を開く ⇒ 「CD書き込みのタスク」の表示の下にある「これらのファイルをCDに書き込む」をクリックして、書き込みを開始する。⇒ 完成

なお、スライドショーの再生回数を「1回」に設定してCDに焼いておくと、終了と同時に自

動排出する。

10. 講習会で使用する画像などについて

講習会で使用する画像、BGMは用意しますが、自分の画像等を使って作成したい方は、画像(jpg、bmp、gifに限る) 5~10枚程度、音楽ファイル (mp3に限る) 1~2曲を持参してください。

（注）画像が多いと時間が掛かりますので、講習会では避けてください。

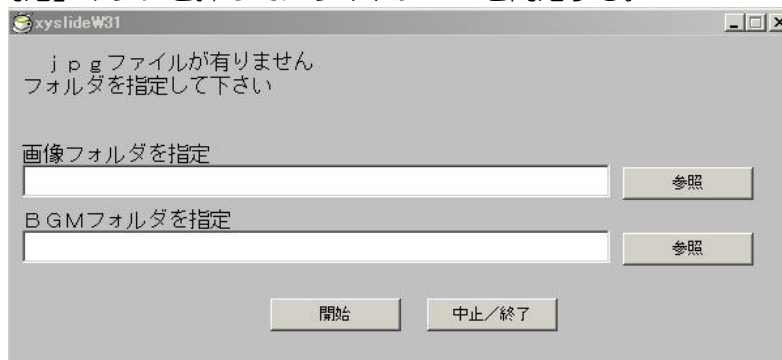
講習会が終了後、USBメモリーなどにスライドショーを保存することも可能です。

なお、デジカメ動画 (avi、mov) も画像と同様に扱えますが、講習会では使いません。

【参考】

1. 「img」フォルダに画像がない場合

- (1) 「xyslideW.exe」を実行すると、画像フォルダの指定を促すダイアログ（下図）が立ち上がるので、「参照」ボタンをクリックして画像フォルダを指定する。
- (2) 合わせて、BGM用音楽フォルダを指定することも出来る。
- (3) 「開始」ボタンを押してスライドショーを開始する。



2. 複数のスライドショーを作成する場合には

一般的に、一度ソフトをインストールすると、そのソフトを起動させて幾つでもスライドショー（ファイル）を作成することが出来ますが、このソフトはスライドショー（ファイル）ごとに実行ファイル等（ソフト）が必要です。

従って、新たなスライドショーを作成する場合は、「xyslide22」フォルダごとコピーして、「img」及び「bgm」（フォルダ）に新たな画像、音楽などを入れて作成します。

3. 画像にナレーションを付ける

- (1) windowsに標準装備の「サウンドレコーダー」を起動し、マイクからナレーションを録音する。

「サウンドレコーダー」は、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「エンターテイメント」から開くことが出来る。

（注）音声ファイルは「mp3」で取り込むこと。また、録音はパソコンにサウンドカードがインストールされていることが必要です。取り込み方法は自習して下さい。

- (2) 「img」フォルダの中に、ナレーション（mp3ファイル）を保存する

mp3ファイルは、説明文ファイルと同様に、対象となる画像ファイルと同じ名前を付けて保

存すること。

（例：画像が0001xxx.jpgの場合、0001xxx.mp3とする。）

4. 表示される画像の順番が設定と違う場合
スライドショーで表示される画像の順番が、意図したものと違う場合は、「img」フォルダの中に出てくる「xyslide.txt」ファイルを修正する。

「xyslide.txt」ファイルを開くと、画像のファイル名が縦に並んでいるので、上から順番に並べ替えてやることにより、自分で設定したとおりに画像を表示させることが出来る。

5. スライドショーをDVDに焼き付けるには
作成した「xyslide」を動画ファイル（AVI、MOV）として、DVDに焼き付けることも可能ですが、「モーションJPG」（動画ファイルの一種）に対応した、コーデック（ソフト）がインストールされていることが条件です。詳しくは「はじめにお読みください.txt」を開き、「xyslideAVI.exe」欄を参照してください。

6. ソフトの入手先
最新版をベクターからDLすることが出来ます。（サンプル画像付です）

URLは

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/art/se367551.html> です。

今回説明した以外にも、種々の設定・使い方が出来ます。「ReadMe.txt」などを参考にして各自トライしてみてください。

最終編集：2009/8/24